

## 大阪アマチュア映像連盟 正式に発足

— アマチュア映像界の新たなる発展のバネに —

会長 合原 一夫

去る2月26日、フジフィルム大阪支社会議室にて、大阪市内に活動拠点を持つ7つのクラブ（映像集団地下街、大阪ビデオサークル、大阪ムービサークル、天六ビデオクラブ、関西シネクラブ、平野映像塾、フジビデオサークル大阪）から代表者2名づつが集まり、「大阪アマチュア映像連盟」結成へ向けての話合いが行われました。その結果原案通り連盟の発足と名称も本決まりとなり、規約案は一部修正のうえ可決、次に役員を選出に移り満場一致で云いだしっぺの私が初代連盟会長に推薦されました。新会長の指名により、副会長にはOVC代表者の有村博氏と天六ビデオクラブ会長の野村一郎氏が、事務局長には地下街を代表して関剛氏と、その補佐役としてOMCから前田茂夫氏が選ばれました。これから大阪市立中央図書館側との映像フェスティバル開催に向けての詰めの作業が残されており、作品選出法など課題が山積しております。何分こうしたことは初めての経験であり、とまどいと不安も有りますが、大阪のアマチュアビデオ映像界の新しい飛躍のために努力してまいる所存です。これには皆様の絶大なるご支援がありませんと、一人では何も出来ませんので、会員各位の一層のご協力ご支援をお願いいたします。

なお、その後大阪市内に活動拠点をもつクラブ2つほどから連盟加盟を打診してきておりますので、結局9つのクラブで新発足しそうです。

## 3月例会のお知らせ

3月例会は29日(今月に限り第5土曜日)午後6時より。阿倍野市民学習センター(阿倍野ベルタ3F)にて。桜の花ももうすぐです。月1回の楽しい集いにどうぞ来てください。今月の例会日第4土曜日は市民学習センター行事のために、第5土曜日になりました。お間違のないようにご参集ください。新しい会員さんも大勢増えました。どんだん作品を持ち寄って、例会を盛況にしましょう。

## 姫路市映像コンテストに前田氏が入選

毎年開催されて早や30回を数える姫路市映像コンテストにOMCの前田茂夫氏が「平野の印象」を応募して、見事入選されました。お目出度うございます。コンテストもだんだん減ってきていますが、自分の腕前を試す一つのチャンスでもありますから今年は姫路コンや旅の映像コンテストなど、一つねらってみてはいかがですか。

## 2月例会のレポート

2月例会の出席者：有村、井田、今井、岩井、江村、岡本、奥、勝、上総、合原、田中、花岡、藤原、前田(明)、前田(茂)、松本、森、安居(利)、安居(良)、増池(見学)の20氏

今月は、藤原純三さん、松本昭さん、安居利次さん、安居良江さんの4氏が新入会されました。拍手!!先月は3名の方が新入会されましたので、この2ヶ月で7名の会員さんが増えたことになり、非常に喜ばしいことです。

見学者1名を入れて、20名の方が出席するという大盛況で、2桁の大台に乗ったのは、フィルム全盛時代ならいざしらず、最近では久々のことで大いに盛り上がりました。したがって作品の数も多くリバイバル1本を入れて11本を鑑賞することになりました。

司会、合原さん、書記前田(茂)さん、デッキ操作は新入会の藤原さんのお世話で例会を始めました。

### 上映作品

1. 溪流 今井 羨美さん 5分30秒  
紅葉の頃の赤目四十八滝を美しく撮られていました。滝をスローモーションで撮影されていましたが、特殊効果をねらったのが逆効果で映像の流れを中断し変えてしまったように思いました。それにしてもVX-1000の映像はやはり綺麗です。
2. 彦根城 有村 博さん 7分40秒  
雪の彦根城をオーソドックスな手法でまとめた作品です。雪が降りそうな

状況を掴んで、慌てて出かけていったそうですが、着いたら晴れていて撮影がすすむにつれて、だんだん雪になってきたそうでした。しっとりとした情感が良く出ていました。時間が短いのにナレーションもあって、手際良く仕上がっています。

3. 平野の印象(姫路コン入賞作) 前田 茂夫さん 9分50秒  
昨年秋に上映した作品ですが、平野ビデオコンと姫路コンに入賞したので再上映しました。  
前回の短評では、イントロのストップモーションが不要、菩薩のシーンが多すぎる、鐘のアップが唐突である、ラストの夕景に浮き出る仏は作者の思い入れを観客に押し付けているので、さらりと流した方がよいとの批評がありました。
4. 網走監獄 安居 利次さん 8分10秒  
新入会の方で名刺がわりにと持ってこられました。奥さんと2人で網走方面に旅行した記録ですが、網走監獄に絞って纏め上げています。監獄の歴史やそれに纏わる脱獄囚の話を、からませて興味深くみせました。しかしカット不足は如何ともしがたく、絵はがきを挿入して時間稼ぎをしていましたが、やむを得なかったのでしょうか、作品の質を損ねています。せめてラストは実写にして欲しかったと思いました。
5. 恋の町ネオンの町 安居 良江さん 3分30秒  
やはり新入会の方の作品で、川面に映ったネオンが綺麗で、色も良かったです。長い間見てきたグリコの看板を外す前の映像で、もう2度と撮れません。なにげない街の風景も刻々と変わっているので、こまめに押さえておくと、貴重な記録となります。  
恋の町というタイトルの割には、アベックが少なく、シルエットでもいいから、恋人の雰囲気をもっと欲しかったです。BGMももう少し軽快な曲にしたほうがよいとの意見がありました。それにしてもご夫婦で同じ趣味を共有できるというのは、羨ましく思いました。
6. 私の町 歴史街道  
「大和和光寺」あみだ池 藤原 純三さん 2分  
某テレビ局が募集した「歴史街道」のコンテスト応募作品だそうで、今現在結果は分かりませんとのこと。たった2分の長さで、ナレーションもあって、簡潔に纏めておられる。この方も新入会の方で娘さんのナレーションがお上手で絵によくあっていました。
7. 渡り鳥の楽園昆陽池と昆虫館 勝 成忠さん 6分40秒  
勝さんも新入会の方ですが、水鳥の動きを非常に迫力のある、若々しいカメラアイで押さえてあって好感が持てました。鳥がエサを奪い合うカットもなかなか面白かったです。昆陽池から昆虫館へ行って、また昆陽池に戻ったときも同じカットでしたが、夕景にするなどガラリと変えた方がよいのでは。同様にBGMももう少し落ち着いた曲にして、場所ごとに変えた方がよいのではないのでしょうか。タイトルが説明的すぎるので、場所の名を抜いて考えてみてはとの意見が最後にありました。

8. ルミナリエ 江村 一郎さん 7分50秒  
江村さんの作品はいつも皆の注目を浴びます。それだけ江村さんの作品に期待が集まっているのでしょう。この作品もそうで、いろいろ話題を提供してくれました。手持ちの流し撮り、アップのカットのひらいかた、タタミかける編集のまとめ方等、江村さん独特の作風が私たちの期待を繋いでくれるのです。今回は美しいイルミネーションと震災後の神戸のモノクロカットを交互に入れ込んで編集していました。しかし同じカットを何度も使うのは、やはり映像制作の基本に反し、クドイという批評がありました。編集のやり方を変えてカットバックの手法を入れて、再編集したらどうか。また震災後の表現にローソクの灯をいれたらどうかというアドバイスもあり、タイトルも平凡なので考え直しては等いろいろ意見がでました。ユニークな作風の江村さんだけに、期待が大きく再編集して見せてくれることでしょう。乞うご期待。

9. ときをこえて（仮題・予告編） 岡本 至弘さん 2分  
めったに発表しない岡本さんの作品はいかにと期待が集まりましたが、今回は予告編ということでした。内容は会員の田中さんの自家用飛行機に乗って、八尾飛行場を出発し、高知を巡って帰ってくるという飛行機上からの映像ですが、雪を被った剣山が奇麗でした。本番は飛行機だけの映像ではもの足りないので、田中さんの生き様まで追いかけたドキュメンタリタッチで描くと、面白いのではないか思いました。飛行機映画では、かつての名作・有村作品とは一味も二味も違った、作品にして欲しいと思います。大勢の会員さんの前で、これだけの予告編を公開したのですから、もう後には引けません。この秋の映像祭を目指してガンバッテください。”乞うご期待”。拍手！

10. ベランダ (テレシネ、16mm) 合原 一夫さん 7分0秒  
8ミリフィルムの作品で、昭和47年の東海テレビコンテスト2位の入賞作品で、ホームムービーの原点のような作品です。引越しの日、奥さんがベランダに置き忘れた植木鉢を取り上げて、そのベランダで起こったなにげない日常生活の回想シーンに入り、暫くしてまた現実に戻って住み慣れた団地を後にするという、いたって何の変哲のない場所も団地のベランダだけという狭い設定で、よくこれだけの内容のある映画にできたものと、改めて感心しました。フジのテレシネでS-VHSにしてもらってそうで、きれいな映像でした。

11. 大理・祭の頃（雲南紀行第2部）合原 一夫さん 9分40秒  
この大理という雲南の地方から取れる石が大理石というそうで、作者のみならず初めて知った人が多いでしょう。ご夫婦で旅行をした紀行作品ですが、手際良くまとめられているのはさすがです。

以上で例会は終わり、いつものように喫茶店と居酒屋とに別れて二次会を楽しみました。